

# せるさいくる



第39号  
2026年1月21日  
北海道細胞検査士会発行  
発行責任者 椎名 真一  
会 長 徳永 祐一

## 北海道細胞検査士会会報

年頭のあいさつ

北海道細胞検査士会 会長

日本医療大学保健医療学部 徳永 祐一

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。令和 7 年度より、藤岡前会長より会長を引き継がせていただき至らぬ点多々ありましたが、皆様のご理解とご協力により北海道細胞検査士会の活動が円滑に遂行できましたことを心より深く感謝申し上げます。

昨年 12 月 7 日に開催しました第 45 回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会では、多くの皆様にご参加をいただき成功裏に終えましたこと心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。特別講演の岡山大学病院 柳井広之先生、教育講演の北海道口腔病理診断所 北村哲也先生、座長の労をおとりいただいた先生方、演者やシンポジストの先生方には快くお引き受けいただきましたことを深く感謝申し上げます。今回は、細胞検査士が学会長となった学術集会でした。私の知る限りではこれまでにはなかったのではないかと考えており、細胞検査士にとって、北海道臨床細胞学会の学術集会で学会長を務めさせていただくことは、非常に光栄なことであると同時に非常に意義深い学術集会であったと考えております。重ね重ねになりますが、誠にありがとうございました。

昨年を振り返りますと、12 月に発生した青森県東方沖地震で被災された方々にはお見舞い申し上げます。令和の米騒動や連日の熊被害などの報道がある一方で、ノーベル賞ダブル受賞は私個人としては深く感銘を受けました。特に、ノーベル生理学・医学賞を受賞された大阪大学特任教授の坂口志文先生の制御性 T 細胞の役割の解明は、病理・細胞診検査に関わる私たちにとっては“がん”を学ぶためには非常に意義深いものと感じております。

令和 7 年の北海道細胞検査士会の事業としましては、2 月の細胞診わかばセミナーでは福岡大学病院の松本慎二技師のご講演から始まり、第 33 回プレパラートサーベイ、細胞診講習会①、細胞診講習会②が実施されました。今年の 2 月 14 日の細胞診わかばセミナーでは、自治医科大学附属さいたま医療センターの加藤智美技師を講師としてお招きして「子宮頸部細胞診の基礎と実践 — HPV 感染を軸に考える —」についてご講演を行っていただきます。また、3 月 1 日には第 35 回細胞診従事者講習会を開催し、特別講演には大阪大学の森井英一先生をお招きしてのご講演、さらにシンポジウムでは「甲状腺診断への確実なアプローチを追究する」をテーマとして、医療法人神甲会隈病院の廣川満良先生を始め、甲状腺細胞診に携わる方々のご講演、パネルセッションが企画されております。皆様、是非ご参加いただきますよう宜しくお願い致します。

昨年実施されました細胞検査士資格認定試験では、北海道の合格者は 14 名と連絡を受けております。この合格者数は細胞診講習会②を受講した方々からのご連絡ですので、最終的にはさらに増えることを期待しております。次世代を担う世代が増えていくことは、大変うれしい限りです。新たに細胞検査士になられた皆様には、北海道臨床細胞学会への入会申請とメーリングリストへの登録を宜しくお願い致します。

今年も役員一同、北海道細胞検査士会の運営や皆様にとって有益な会となりますよう活動してまいります。皆様のご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

皆様にとりまして、昨年よりもさらに良い 1 年になりますようにご祈念申し上げます。

## ★ メーリングリストへの登録のお願い

会員への情報伝達手段の一つとしてメーリングリストを開設し、北海道臨床細胞学会や北海道細胞検査士会からの情報配信に利用しています。

未登録の方々はご参加をお願い致します。

メーリングリストへ登録をして頂ける方は、下記 URL 又は QR コードよりアクセスし必要事項の記入をお願い致します。

<https://forms.gle/8LXbVAqWpdMUKPdv6>



\* 講習会の詳細な内容や申し込み方法等は、北海道細胞検査士会ホームページ 又はメーリングリストにて随時ご案内しております。

## 第58回細胞検査士資格認定試験合格者 14名

春田 愛夢 砂川市立病院

小川 莉乃 旭川医科大学病院

亀谷 有紀 市立札幌病院

古川 紗弥 KKR 札幌医療センター

松田 峻輔 旭川医科大学病院 西 蒔史 旭川厚生病院

都谷森 樹 手稲溪仁会病院 井上 達也 帯広厚生病院

中振 大貴 旭川医科大学病院 横山 諒太 釧路赤十字病院

古澤 賢人 函館五稜郭病院 佐藤 利緒 市立室蘭総合病院

川畠 由梨乃 北見赤十字病院

佐々木 琴音 旭川がん検診センター



(順不同 敬称 略)

🌸 🌸 🌸 おめでとうございます 🌸 🌸 🌸

合格者からの一言

『認定試験を終えて』 市立室蘭総合病院 佐藤 利緒

私は昨年に、新人として病理検査部門に配属され、学生時代から目標としてきた細胞検査士資格の取得を目標としてきました。初めての受験であったため、当初は学習の進め方も分からず、ただ我武者羅に過去問題を中心に勉強を進めていました。そのような中、自施設の先輩や他施設の皆さんも業務の合間や時間外にもかかわらず、わからないところがあるたびに遅くまで嫌な顔をせず一緒に鏡検しご指導くださいました。多くの先輩方が試験合格のために力を尽くしてくれ、改めて恵まれた環境にいることを実感しました。この場をお借りして、皆様に感謝申し上げます。周囲の支えにより、なんとか一度で合格することができましたが、細胞検査士としてはまだスタートラインに立ったに過ぎません。より一層気を引き締め、早く一人前に、早く諸先輩方に追いつけるよう、日々努力を重ねていきます。

## 『認定試験を終えて』 旭川医科大学病院 中振 大貴

「今年は難しいと思うけど……」「二次試験は来年だね」 昨年は一次試験で不合格となっており、正直なところ、今年一発での合格は難しいかもしれないと感じていました。それでも、「自分を信じてみよう」と、なぜか心に火がついたような気持ちになり、そこからはこれまでの人生で一番本気で勉強に向き合いました。転職も重なり、新しい職場での業務習得と試験勉強の両立は、正直かなりの綱渡りでした。眠気と戦いながら顕微鏡に向かった日々は決して楽ではありませんでしたが、今では誇れる大切な財産です。今回合格できたのは、決して自分一人の力ではありません。日頃から応援し、指導してくださった多くの方々のおかげです。本当にありがとうございました。叱咤激励という名の追い風がなければ、ここに立つことはできなかったと思います。これからは「合格した人」で終わるのではなく、「信頼される人」であり続けられるよう、現場で学び続ける細胞検査士として、日々努力を重ねていきます。

## 『認定試験を終えて』 旭川医科大学病院 小川 莉乃

私は今回が2度目の受験でした。今回は2次試験からの受験だったため、鏡検に専念することができました。職場の方々や他施設の方々にもたくさんのご支援を頂き、何とか合格に至りました。今回の合格は多くの皆様の支えがあったからこそだと思います。お忙しい中ご指導くださった皆様、鏡検する時間をつくってくださった同僚の皆様にも心より感謝申し上げます。

これから細胞検査士として活躍できるようにより一層努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 『認定試験を終えて』 砂川市立病院 春田 愛夢

今回で2度目の試験でした。1次試験では、あと一歩及ばず、悔しい思いをしました。昨年の試験では、初見の問題や、会場の雰囲気にも圧倒されました。試験後、手応えが全くなく、ホテルに帰ってからは涙が止まりませんでした。それからの一年間は昨年以上に必死に勉強して、無事合格することができました。貴重な時間を割いて支えて頂いた先輩方には本当に感謝しております。この場をお借りして感謝申し上げます。これからまた1からのスタートになりますが、1日でも早く一人前の細胞検査士として貢献できるよう、日々努力していきたいと思ひます。これからもお世話になることが多いと思ひますが、宜しくお願ひ致します。

## 『認定試験を終えて』 釧路赤十字病院 横山 諒太

4年間、長い道のりでした。1次試験では1度落ち、2次試験も2度不合格となり、2025年度はまた1次試験から受け直したため、モチベーションがかなり下がっていました。

それでも、日々応援して下さった上司、半年間にわたり業務支援で多くの知識を教えてくださいました旭川赤十字病院の方々、そして勉強会を通じて応援して下さった同じ道東地区の皆様への恩返しをしたいという思いが強く、「今年こそは」と決意して受験しました。その結果、1次試験・2次試験をなんとか合格することができました。今振り返ると、この合格は自分1人の力だけではなく、多くの方々の支えで、何か不思議な力が働いていたように感じます。晴れて細胞検査士として名乗れるようになったものの、ここからが本当のスタートです。これから数多くの症例を経験し、迷い、悩み、辛いこともたくさんあると思ひますが、一人前の細胞検査士になれるよう、知識と技術を地道に積み重ねて努力を続けていきます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

## 『認定試験を終えて』 函館五稜郭病院 古澤 賢人

細胞検査士資格取得に向けて全力で取り組んだ1年間でした。初受験で色々な不安はありましたが、先輩方のサポートもあり無事に合格を勝ち取ることができました。1次試験は過去問を完璧になるまで繰り返し行い、2次試験は毎月1000枚見ることを目標に、過去標本やルーチン標本をひたすら鏡検しました（「合格するのに必要な枚数は8000～10000枚」とサイトで見かけたことがあったので、）。また、2次試験直前に開催された勉強会は実際の試験に近い環境や形式だったので、参加したことで自分に足りていないことがわかり、試験までの残りわずかの期間を有意義に活用することができました。今後もルーチン業務や勉強会参加を通して知識や経験を積み、細胞検査士としてのスキルを磨いていきたいと思っております。そして、これから受験する技師にも経験したことを伝えていきたいと思っております。

## 『認定試験を終えて』 KKR 札幌医療センター 古川 紗弥

初受験ながら、皆さんに支えていただき、合格にたどり着くことができました。5月になってもなかなかエンジンがかからなかった私を見兼ねて、東京で行われている2週間コースへの参加をはじめ、多くの学びの機会を与えていただきました。また、先輩が典型的な標本を数多く用意くださり、時間外にもかかわらず丁寧に解説いただくなど、非常に恵まれた環境でご指導を受けることができました。そのおかげで、試験に合格することができたと感じています。これからは、これまで担当していなかった業務にも積極的に携われることがとても嬉しいです。細胞検査士として見落としがないよう心がけ、気になったことや判断に迷うことがあれば、その都度先輩方に相談させていただきながら、少しずつ知識や経験を積み重ねていきたいです。今後ともよろしく願いいたします。

## 『認定試験を終えて』 帯広厚生病院 井上 達也

長く苦しい戦いとなりました。四度目の挑戦でようやく合格を勝ち取ることができました。私は一次試験で苦戦し三度目でやっと合格、その後の二次で不合格となり二回目の二次試験でした。心が折れかけ、泣いても笑っても今回は最後と思い試験に臨んでいたのが合格を知ったときは手が震えました。なかなか合格の実感が湧かず合格発表や受験者マイページを何度も確認していました。受験にあたって支えてくださった周りの皆様には頭が上がりません。また、他院標本を見る機会や勉強会など多くの有意義な会を開催いただいた細胞検査士会の皆様にもこの場を借りて御礼申し上げます。合格の喜びに浸っていましたが、合格はゴールではなくスタートラインですので、これから細胞検査士として知識と技術の研鑽に邁進していきたいと思っております。これからお世話になるかと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 『認定試験を終えて』 市立札幌病院 亀谷 有紀

難しい試験でしたが、環境と人の繋がりに恵まれて無事合格することができました。受験するにあたって、多忙な状況にも関わらず親身に指導していただいた皆様に、この場を借りて深く感謝申し上げます。試験を終えて安心する一方で、実際にスクリーニング業務に携わると先輩方の背中がまだまだ遠く感じられる場面も多くあります。合格はスタートラインに過ぎないのだなということを実感しており、今後も研鑽を続けていこうと身が引き締まる思いです。

## 『認定試験を終えて』 手稲溪仁会病院 都谷森 樹

2次試験は3回受験し、今回ようやく合格することができました。落ちたときは「本当に受かる試験なのか?」と思ってしまうほど絶望しました。試験について聞かれると、まず口をついて出るのは「つらかった」の一言です。合格したときにはとてつもない達成感と安堵で手が震えたほどです。一度は諦めそうになりましたが、職場の上司や友人、妻の協力もありなんとか踏ん張ることができました。協力してくださった方々には感謝の言葉しかありません。ようやくスタートラインに立つことができたので、これからは経験や知識を深めて活躍していけるようにこれまで以上に勉強していきます。検査士会の皆様にはこれからお世話になる機会があるかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 『認定試験を終えて』 旭川医科大学病院 松田 峻輔

ようやく細胞検査士資格認定試験に合格することができました。一次試験、二次試験ともに複数回受験しており、今年合格できなければ諦めようと覚悟を決め、この一年間、合格を目指して懸命に勉強を続けてきました。過去には、思うように結果が出ず心が折れ、受験から離れた時期もありました。その後、周囲の人が次々と合格していく姿を目にし、大きな焦りやプレッシャーを感じるようになりました。それでも挑戦を続けられたのは、決して自分一人の力ではなく、支えてくださった周囲の方々の存在があったからだと思います。時間はかかりましたが、ようやくスタートラインに立つことができたので、これまでの辛い経験を忘れず、感謝の気持ちを胸に、信頼される細胞検査士を目指して日々精進していきたいです。

\* 昨年末に実施された、第58回細胞検査士資格認定試験で、掲載されている方以外に合格された方が施設にいらっしゃいましたらお手数ですが、椎名([soccer.com.57118@gmail.com](mailto:soccer.com.57118@gmail.com))までご連絡をお願い致します。

## 細胞検査士資格認定試験対策 ～1次&2次 報告～

北海道細胞検査士会では、毎年細胞検査士資格認定試験対策として、学術委員が中心となり1次試験対策として分野別画像問題の出題と解答解説、画像投影方式の細胞像判定を実施しました。受講者は22名でした。

また、2次試験対策として、昨年の資格認定試験で合格された角大伍技師より実体験を踏まえた勉強方法、実際の試験での注意点等をレクチャーしていただきました。更に、担当役員の施設から持ち寄った標本を使用し、実際の試験に類似した形式で、スクリーニングと同定試験を実施させていただきました。受講者は30名でした。一度に複数の施設の標本を見る事ができる数少ない機会で、大変貴重で有意義な講習会だと思います。来年認定試験を受験される方だけではなく、今後受験を考えている方等誰でも受講していただける講習会です。気軽な気持ちで参加していただければ幸いです。来年以降も、一人でも多くの受験者が資格認定試験に合格し細胞検査士として活躍していただけるよう、このような講習会を継続していきたいと考えていますので、皆様のご協力の程宜しくお願い致します。



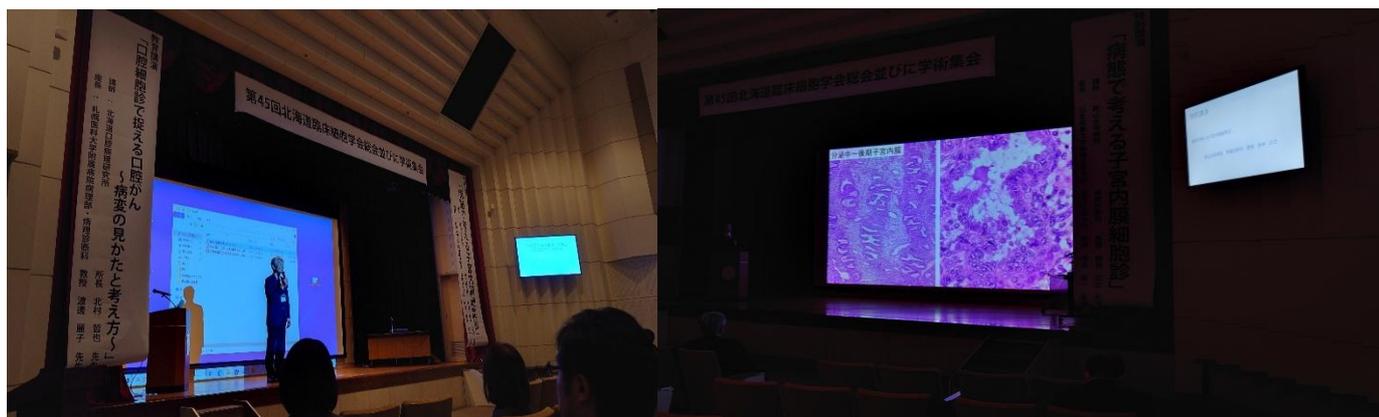
## 子宮の日 LOVE49 キャンペーン ～検査 de フェスティバル～活動報告

20～30歳代の若い女性に急増中の子宮頸癌ですが、定期検診を受けることで予防できる癌です。しかし、検診の受診率が低いのが現状であり問題となっています。検診方法では、HPV 単独検診を導入する自治体も少しずつではありますが増えてきており、細胞診検査の役割自体が変貌していく可能性があります。少しでも検診の受診や子宮頸癌等に関心を持っていただくため、子宮の日(4月9日)を、LOVE49 街頭アクションと題して、細胞検査士や病理医等の医療従事者が主体となり子宮頸がん検診啓発活動を全国で毎年実施しています。本年より北海道細胞検査士会では、年2回の啓発活動を1回に変更し、9月23日、札幌駅地下歩行空間で開催された検査 de フェスティバル(協力者11名)で啓発活動を実施しましたので報告致します。がん検診の必要性と受診率の向上、検査に従事している細胞検査士の存在を多くの皆様に知っていただけるようリーフレットと啓発活動グッズを市民の皆さんに配布させていただきました。



## 第45回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会報告

2025年12月7日(日曜日)札幌医科大学 臨床大講堂にて開催されました。今回の学会は、細胞検査士が初めて学会長を務めて開催された総会並びに学術集会でした。一般演題は、症例報告や検討報告と様々な内容で7演題の報告がありました。特別講演では、岡山大学病院病理診断科教授 柳井広之先生に『病態で考える子宮内膜細胞診』と題して、子宮内膜細胞診の目的について、病理組織像と細胞像を交えた子宮内膜細胞診の目的とホルモン環境での変化についての細胞像と判定のピットホール等詳細なお話を聞くことが出来ました。教育講演では、北海道口腔病理診断所 北村哲也先生に『口腔細胞診で捉える口腔がん～病変の見かたと考え方』と題して口腔擦過細胞診の基本的な細胞の見方を実際の症例を交えて詳細に解説していただきました。日頃難しいながらも実際に標本を鏡検し判定を行っている子宮内膜・口腔細胞診において明日から実践できる大変有意義な内容でした。臓器横断シンポジウムでは、婦人科・消化器・甲状腺・呼吸器の4領域より出題されました。事前に動画での症例提示と事前投票を会員の皆様にさせていただきました。どの症例も難しい症例でしたが、臨床所見や細胞の観察ポイントを含めた詳細な解説がありました。



# 学会見聞録 『第64回日本臨床細胞学会秋期大会に参加して』

市立函館病院中央検査部病理研究検査センター 佐藤 大樹

令和7年11月29～30日に広島県の広島国際会議場、広島市文化交流会館にて開催されました第64回日本臨床細胞学会秋期大会に参加し、示説発表をしてきました。まず今回の会場となった広島国際会議場は平和記念公園内にあり、他には原爆ドームや広島平和記念資料館などがあります。

今回の発表では、多少の緊張はあったものの、皆様のおかげで無事終了することができました。日頃よりご指導くださる先生方、そして同僚の皆様に、感謝申し上げます。学会では、症例報告、遺伝子検査、およびAIに関する報告など、多岐にわたる発表や講演を聴きました。症例報告では、自身の経験がない貴重な症例に数多く触れることができ、病理医や臨床医といった異なる視点の報告もまた大変参考になりました。私自身、細胞所見に焦点を当てがちですが、改めて臨床経過や画像所見の重要性を再認識しました。シンポジウムでは、細胞診検体を用いた遺伝子検査に関する知見や、病理組織検体で適切な遺伝子解析を行うための各施設の取り組みについて詳細に伺うことができました。いずれの報告も大変勉強になり、当施設の今後の運用を考えるうえでとても参考になりました。さいごに、今回学会に参加したことで、以前一緒に働きご指導いただいた先輩や同級生、学会や勉強会を通じて交流を持てた方々と再会し、とても有意義な時間を過ごせました。また、広島のグルメ(牡蠣、穴子、お好み焼きなど)もしっかり楽しみましたよ。みんなまた会える日を楽しみにしとるけんね！

## ★ 2025年度 北海道細胞検査士会 活動報告

### ◎ 総務関係

- 1) 公益活動:検査 de フェスティバル 9月23日 札幌地下歩行空間 協力者:11名
- 2) 会報発行:せるさいくる発行 2026年1月に発行(本号)

### ◎ 学術関係

- 1) 第33回プレパラートサーベイ(呼吸器)の実施(現在回覧中)
- 2) 細胞検査士資格認定試験受験者のための細胞診講習会① 10月12日 受講者:22名  
細胞検査士資格認定試験受験者のための細胞診講習会② 11月24日 受講者:30名

### ◎ 今後の予定 【北海道】

- 1) わかばセミナー 2月14日(土曜日)札幌医科大学教育研究棟D101講義室  
『子宮頸部細胞診の基礎と実践 -HPV感染を軸に考える-』 受講者申込受け付け中
- 2) 細胞診従事者講習会 3月1日(日曜日)札幌医科大学臨床大講堂  
『第32回プレパラートサーベイ報告』  
『甲状腺診断への確実なアプローチを追究する-穿刺標本作製と診断精度向上への取り組み-』  
【全国】第67回日本臨床細胞学会総会春期大会 2026年6月12日～6月14日 神奈川県  
第64回日本臨床細胞学会秋期大会 2026年11月22日～11月23日 千葉県  
第68回日本臨床細胞学会総会春期大会 2027年6月11日～6月13日 宮城県  
第65回日本臨床細胞学会秋期大会 2027年11月13日～11月14日 岩手県  
\* 2028年6月9日～11日 北海道(函館)で北海道大学病院 婦人科 渡利 英道先生を  
学会長として全国学会が開催されます。その際は、演題登録及び現地での学会参加を宜しく  
お願い致します。

<編集後記> 昨年は、日ハムの快進撃～あと一歩で日本シリーズ進出でしたが力及ばずリベンジに期待！レバンガも富永選手の活躍で好調！北海道のスポーツが熱い。今年は、大谷選手が参加予定のWBC、ワールドカップ等と昨年以上に盛り上がりそうな予感。実際のスタジアムで観戦したいなあ～って思っています。ここ数年、北海道では毎年10名以上の細胞検査士が誕生しています。人口減で大変な時代に突入していきませんが、新しい仲間が継続的に増えていく事は、大変うれしく心強く思うと共に、これからの活躍を期待しております。物価高により出張等の費用が抑制され始めてきている状況ですが、会員同士の交流は重要だと思いますので、引き続き現地開催での講習会への参加及びご協力の程宜しくお願い致します。また、研修会等の情報を積極的にホームページやメーリングリストを活用し、会員の皆様に随時お伝えできればと思っています。皆様のご支援と、会の活動にご協力をお願い致します。(総務 椎名)